



2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社 関門海

上場取引所 東

コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 関口 弘一

TEL 072-349-9329

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,891	5.0	△259	—	△267	—	△171	—
2025年3月期中間期	1,801	6.4	△177	—	△192	—	△121	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △181百万円 (—%) 2025年3月期中間期 △118百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△12.54	—
2025年3月期中間期	△8.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,893	1,107	38.3
2025年3月期	3,316	1,289	38.9

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 1,107百万円 2025年3月期 1,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期 (予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,360	1.8	265	△19.1	230	△23.3	180	△52.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期中間期 | 14,000,900 株 | 2025年3月期 | 14,000,900 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期中間期 | 302,147 株 | 2025年3月期 | 302,147 株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2026年3月期中間期 | 13,698,753 株 | 2025年3月期中間期 | 13,698,753 株 |

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間は、雇用や所得環境の改善による個人消費の持ち直しが見られる一方で、物価上昇の継続や米国の通商政策等による景気の下振れリスクもあり、節約志向の高まりにより消費マインドの冷え込みが懸念されます。

当社グループにおいては、4月に国産うなぎをほぼ全店で販売を開始したほか、7月1日から玄品45周年フェア第1弾として「うなぎコース」、第2弾として「とらふぐコース」を投入し好評いただきました。6月には京都で2店舗目となる京都四条店を新たにオープンしました。また、7月には2025大阪・関西万博のORA外食パビリオン「宴〜UTAGE〜」にて出店を行い限定商品の販売等によりふぐ料理の魅力を世界中の方々に発信いたしました。本部においては、加工作業に携わる人員の確保を進め販売品目の増加にも対応できるよう体制の強化を図り外部流通卸への加工食材などの販売等に注力しております。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、インバウンド旅行客の来店は落ち着きを見せているものの、うなぎ料理に加え45周年フェアが大変好評だったこと等により、前中間連結会計期間と比較して、直営店舗の既存店売上高は、前年同中間期比1.7%増となりました。当中間連結会計期間末の直営店舗数は、新規開店1店舗、閉店2店舗により前期末から1店舗減少し40店舗、直営店舗の売上高は1,513百万円（前年同中間期比1.2%増）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、とらふぐ等の食材販売等の売上高は前年同中間期を上回りましたが、既存店店舗末端売上高は前年同中間期を下回る結果となりました。当中間連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、中国の寧波店及び上海世紀滙店を閉店したため2店舗減少し22店舗となり、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は124百万円（前年同中間期比2.9%増）、国内既存店末端売上高は、339百万円（前年同中間期比1.3%減）となりました。

その他の業態の当中間連結会計期間末の店舗数は、6月に契約満了により店舗を閉店したため0店舗となりました。本部に係る売上高も含めた当中間連結会計期間の売上高は、本部の食材の外部販売に係る売上が増加したこと等により254百万円（前年同中間期比37.1%増）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は1,891百万円（前年同中間期比5.0%増）となりました。利益面においては、売上高は増加しましたが、継続する原材料価格の高騰や45周年フェア等による原価率上昇に伴い売上総利益は1,239百万円（前年同中間期比0.1%増）となりました。販売費及び一般管理費については、人員増強や従業員待遇改善等の人件費関連や広告宣伝費等が見込み通りに推移したこと等により1,499百万円（前年同中間期比5.9%増）となりました。これらにより、当中間連結会計期間の営業損失は259百万円（前年同中間期は177百万円の損失）、経常損失は267百万円（前年同中間期は192百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純損失は、固定資産売却損5百万円等を計上したこと等により171百万円（前年同中間期は121百万円の損失）となり、ほぼ業績見込み通りとなりました。

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、四半期毎の業績に大幅な変動があります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して423百万円減少し、2,893百万円となりました。これは、商品及び製品の増加188百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる中間特有の会計処理に係る繰延税金資産の増加102百万円、有形固定資産の取得等による増加40百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少708百万円、売掛金の減少51百万円等の減少要因によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して241百万円減少し、1,785百万円となりました。これは買掛金の増加52百万円等の増加要因はあったものの、短期借入金の純減額100百万円、長期借入金の返済による減少69百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の減少46百万円、賞与引当金の減少36百万円、未払金の減少24百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して181百万円減少し、1,107百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純損失の計上に伴う利益剰余金の減少171百万円等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて708百万円減少し695百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は442百万円となりました。これは仕入債務の増加55百万円、売上債権の回収による減少51百万円、減価償却費45百万円等の増加要因があったものの、税金等調整前中間純損失の計上273百万円、棚卸資産の増加189百万円、未払消費税等の減少46百万円、賞与引当金の減少36百万円、未払金の減少28百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は86百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出88百万円、長期前払費用の取得による支出3百万円等の減少要因はあったものの、差入保証金の回収による収入4百万円等の増加要因によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は169百万円となりました。これは、短期借入金の返済による純減額100百万円、長期借入金の返済による支出69百万円の減少要因によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,403,968	695,357
売掛金	261,397	209,534
商品及び製品	554,855	743,186
原材料及び貯蔵品	19,326	20,915
その他	70,724	97,897
貸倒引当金	△251	△221
流動資産合計	2,310,021	1,766,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	446,863	485,606
その他（純額）	73,526	74,978
有形固定資産合計	520,390	560,585
無形固定資産		
その他	13,269	12,054
無形固定資産合計	13,269	12,054
投資その他の資産		
差入保証金	261,586	247,212
その他	211,714	306,853
投資その他の資産合計	473,301	554,065
固定資産合計	1,006,960	1,126,705
資産合計	3,316,982	2,893,374
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,339	205,872
短期借入金	900,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	139,980	139,980
未払金	221,826	197,402
未払法人税等	1,974	945
賞与引当金	96,720	59,809
株主優待引当金	8,451	8,943
その他	87,588	26,345
流動負債合計	1,609,880	1,439,299
固定負債		
長期借入金	390,030	320,040
その他	27,249	26,074
固定負債合計	417,279	346,114
負債合計	2,027,160	1,785,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	909,543	737,742
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	1,287,723	1,115,923
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,098	△7,962
その他の包括利益累計額合計	2,098	△7,962
純資産合計	1,289,822	1,107,960
負債純資産合計	3,316,982	2,893,374

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,801,180	1,891,831
売上原価	562,680	652,442
売上総利益	1,238,499	1,239,388
販売費及び一般管理費	1,415,816	1,499,075
営業損失(△)	△177,316	△259,686
営業外収益		
受取利息	193	1,196
補助金収入	-	3,452
差入保証金回収益	2,000	840
その他	1,126	2,205
営業外収益合計	3,320	7,694
営業外費用		
支払利息	14,318	9,502
支払手数料	2,745	2,717
その他	1,751	3,395
営業外費用合計	18,814	15,616
経常損失(△)	△192,810	△267,607
特別利益		
固定資産売却益	-	372
新株予約権戻入益	58	-
特別利益合計	58	372
特別損失		
固定資産除却損	-	289
固定資産売却損	4	5,977
特別損失合計	4	6,267
税金等調整前中間純損失(△)	△192,757	△273,502
法人税等	△71,317	△101,701
中間純損失(△)	△121,439	△171,800
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△121,439	△171,800

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△121,439	△171,800
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,184	△10,061
その他の包括利益合計	3,184	△10,061
中間包括利益	△118,255	△181,862
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△118,255	△181,862
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△192,757	△273,502
減価償却費	42,035	45,653
長期前払費用償却額	4,139	3,636
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,674	△36,910
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△4,939	491
支払利息	14,318	9,502
売上債権の増減額 (△は増加)	79,611	51,863
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,547	△189,919
仕入債務の増減額 (△は減少)	△98,235	55,362
未払金の増減額 (△は減少)	△66,762	△28,591
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△7,680	△26,183
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△87,210	△46,558
その他	△12,609	2,705
小計	△382,992	△432,480
利息及び配当金の受取額	193	1,196
利息の支払額	△15,455	△9,121
法人税等の還付額	1	-
法人税等の支払額	△1,026	△1,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	△399,279	△442,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	450,000	-
有形固定資産の取得による支出	△57,025	△88,352
有形固定資産の売却による収入	1,681	1,225
無形固定資産の取得による支出	△621	-
差入保証金の回収による収入	5,865	4,798
差入保証金の差入による支出	△2,023	△75
長期前払費用の取得による支出	-	△3,778
その他	△8	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	397,868	△86,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△908,062	△100,000
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△602,626	△69,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,110,689	△169,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,184	△10,061
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,108,916	△708,611
現金及び現金同等物の期首残高	2,024,483	1,403,968
現金及び現金同等物の中間期末残高	915,567	695,357

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、冬場におけるとらふぐ料理の需要が大きいため、連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

※2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
労務費	564,624千円	597,925千円
地代家賃	195,120千円	196,468千円
賞与引当金繰入額	47,257千円	59,809千円
株主優待引当金繰入額	11,181千円	8,943千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	915,567千円	695,357千円
現金及び現金同等物	915,567	695,357